

## 各調査項目の収集項目

調査項目	項目種別	内容
ベースライン	共通項目	入院日、治療日（カテーテルアブレーション手技日）、術者（副術者）の医籍番号、性別、年齢、身長、体重、虚血性心疾患の有無、虚血性心疾患名、非虚血性心筋症・心筋疾患の有無、非虚血性心筋症・心筋疾患名、中等度以上の弁膜症の有無、先天性心疾患・アノマリーの有無、外科的肺静脈隔離術（MAZE 等）の既往
治療情報	共通項目	アブレーションの治療対象となった不整脈診断名、カテーテルアブレーション施行回数、アブレーションシステム、心房細動（背景、今までに使用した抗不整脈薬数、症状、種類、診断、持続期間、治療内容（肺静脈隔離・肺静脈隔離以外のアブレーション）、急性期結果）、心房粗動・心房頻拍（分類、不整脈数、起源、急性期結果）、房室結節リエントリ性頻拍（分類、急性期結果）、副伝導路症候群（分類、症状、症候性診断名、本数、部位、急性期結果）、上室期外収縮（起源数、起源、急性期結果）、心室期外収縮（適応、起源数、起源、24 時間総数（術前）、急性期結果）、心室頻拍・心室細動（分類、部位、起源、急性期結果）、先天性心疾患の不整脈（Twin AV node：急性期結果、先天性接合部頻拍（CJET）：急性期結果）、洞結節リエントリ性頻拍（洞結節アブレーションの実施、急性期結果）、Inappropriate Sinus Tachycardia に対する洞結節アブレーションの実施、急性期結果）、房室結節アブレーション（施行目的、急性期結果）、接合部頻拍（急性期結果）、分類できない不整脈に対するカテーテルアブレーション（分類できない不整脈診断名、急性期結果）
退院時情報	共通項目	転帰、退院日、再発の有無
調査の終了（中止） 共通項目		調査終了日、調査終了理由
合併症 共通項目		合併症の有無、発症日、合併症の分類、出血の部位、出血の程度、空気塞栓部位、心臓・循環器関連合併症詳細、食道関連合併症の有無、呼吸器合併症の有無、後腹膜血腫の有無、気胸の有無、血胸の有無、急性冠症候群の種類、洞不全症候群の種類、房室ブロックの種類、鎮静の影響の有無、合併症の重症度、処置、処置詳細